



国際戦略局国際展開課企画係長

亀海 英之介

Kamegai Einosuke

平成23年10月 総務省採用
情報通信国際戦略局通信規格課
平成24年 8月 大臣官房総務課
平成26年 8月 情報通信国際戦略局国際政策課
平成28年 7月 自治税務局市町村税課
平成30年 4月 国際戦略局国際政策課主査
令和2年 1月 併任 国際戦略局国際政策課
デジタル国際戦略室
令和3年 7月 現職



情報流通行政局地域通信振興課主査

安齋 佐和

Anzai Sawa

平成18年 4月 総務省採用
情報通信政策局総務課
平成18年 8月 大臣官房企画課
平成20年 7月 情報流通行政局放送政策課
平成22年 7月 総合通信基盤局電波部電波政策課
国際周波数政策室
平成24年 5月 情報流通行政局地上放送課
デジタル放送受信推進室主査
平成24年 8月 情報流通行政局衛星・地域放送課
第一業務係長
平成26年 8月 衆議院調査局総務調査室調査員
平成28年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部
事業政策課専門職
平成29年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
ブロードバンド整備推進室専門職
平成30年 8月 大臣官房政策評価広報課個人情報保護係長
平成31年 4月 大臣官房総務課主査
令和2年 12月 育児休業
令和3年 4月 現職

デジタルインフラを巡る世界のうねり

戦略を紡ぎ、戦術を磨く

ここ数年でデジタルインフラを取り巻く国際環境は大きく姿を変えており、国際的な枠組みの中で様々な議論が活発に行われています。例えば、国際間のデータ通信量の約99%を支えている光海底ケーブルや5Gは単に整備するだけでなく、ネットワークの信頼性、安全性、透明性を確保することの重要性が有志国の間で共通理解となりつつあります。

こういったグローバルなトレンドを読み解き、日本のICTが世界で活躍できる余地を見つけ、国としての効果的な海外展開支援のあり方を戦略として紡ぐ。さらに、予算施策や官民連携の枠組みを活用して、日本のICT企業に対する後方支援策を磨き、時には政務三役とともに前面に出て諸外国政府と交渉する。これらが、私が国際展開課で取り組んでいる任務のひとつです。刻一刻と変化する状況を目の当たりにしながら、日本の効果的なICT海外戦略について日々、上司や同僚と知恵を絞り出しています。

BIG MACHINE

総務省は巨大な組織であり、大型組織特有の閉じたイメージがあるかもしれませんが、しかし、想像以上に世界に開けており、能動的に仕事に取り組めるステージがあります。実際、企業やシンクタンク、在外公館等を通じて世界の最新情報が集まり、新しい取組みを打ち出せる環境は非常に恵まれていると思います。

例えば、最近ニュースでもよく耳にする経済安全保障のうちICT分野について、私は、総務省として注力し始めた段階で、有志国とのICT分野における連携構築や5Gの海外展開のための予算施策の創設、世界の光海底ケーブルの敷設状況の調査・分析、米外交専門誌への寄稿を通じた日本の施策の発信といった業務に主体的に取り組むことができ、現体制につながる流れを生み出したことは非常に印象に残っています。皆さんも是非、総務省というBIG MACHINEに乗り込み、エンジンとなって動かしてみてください。きっと新しい景色を見ることができます。

PRIVATE TIME

アクアリウムが趣味のひとつです。以前はアロワナといった大型の熱帯魚を飼っていたのですが、今はベタという小型の美しい魚に夢中です。水槽で繁殖し、100匹近くのこどもたちが生まれました。ベタはオスが泡巣で子育てをします。泡巣から落ちたこどもたちを丁寧に拾い上げていく様子はとてもめげなげで飽きることなく観察していました。



Q 総務省を志望するようになったきっかけは何ですか？

A もともと民間企業で働いていたのですが、公共政策のダイナミズムに興味を持ち役所で働いてみたいという思いを持ち始めました。ちょうど地上デジタル放送が進んでいて、総務省という役所の名称はよく耳にしており、情報通信分野の政策を企画・立案しているので、新しいテクノロジーやそれらが息づく社会の動向に寄り添って政策を打ち出せる面白い環境であると思い志望しました。

Q 今までに一番印象に残った仕事はなんですか？

A 入省以来、国際関係業務を担当することが多かったのですが、地方税制の改正業務を担当できたのは自分の中で大きな糧になりました。一定の人口を有する都市が課する事業所税に関する新規特例の創設や、国民健康保険制度の大改正の内容を国民健康保険税へ反映するといった法令改正業務に主担当として取り組みました。法令改正の業務は制度への深い理解や実際に制度が運用される状況への想像力が求められ、プレッシャーを感じるものですが、条文の穴を緻密に埋めていく過程は非常にスリリングな体験でした。

ICTの切り口で、地域への貢献を。

自治体のICT利活用を推進するために

私は、自治体のICT利活用を推進する業務を担当しています。業務の中心は、自治体でICTを活用する際に、地域課題の解決に精通したアドバイザーの派遣などの支援を行う「地域情報化アドバイザー」制度の運用で、近年知名度が上がってきたこともあり、日々多くの自治体から問い合わせをいただいています。

自治体システムの標準化やAIの活用、セキュリティ対策など、自治体を取り巻くICT環境が目まぐるしく変化する中、「標準化にどう対応すればよいのかわからない」「AIを導入したいが何から始めればよいのか」と悩む自治体に向け、冒頭のアドバイザー派遣や、AI等の導入ガイドブックの作成・紹介といった支援を行っています。

総務省を希望される方の中には、「地域のために働きたい」という想いの方も多いと思います。ICTという分野に特化した形で、間接的ではあるものの全国の自治体を支援することで、地域振興に貢献できることがこの仕事の魅力です。

ICTの変化にあわせて、変化していく職場

学生の頃、官庁訪問で、「自分は飽きやすいから色々な業務を担当したい。日進月歩で伸び代のあるICTであれば、国の業務も時代とともに変わっていくはず。自分が退職する頃には思いもつかないICTの形になっているかもしれない」と言われたことを覚えています。（その頃、テレビはデジタル化の真最中で、ケータイといえば二つ折りでした。）

新しい横文字が出てきたと思ったら、2、3年後にはそれを専門に扱う部署ができ、さらに数年後には当たり前にならに世の中に普及している。入省してから十数年が経ちましたが、そんなサイクルを何度も見てきました。働いている場所は変わらないのに、ICTの形は変化し、それに合わせて私たちの業務も変わっていきます。もともと多くの分野を所管する総務省ですが、その業務も時代で変化していくので、自分の興味がある分野、強みを発揮できる分野を見つける機会がたくさんあると思います。是非総務省に興味を持っていただけたら嬉しいです。

PRIVATE TIME

玉ねぎをじっくり炒めてつくる、スパイスカレーにはまっています。最初は基本スパイスだけ揃えるつもりが、色んな香辛料を試したくて買い足していたら、すごい数に…。こどももカレーが大好きで、カレーだと野菜をもりもり食べてくれるので、土日は大量にカレーの素を作ってストックしています。





総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
料金制度係長

五味 佑介

Gomi Yusuke

平成24年 4月 総務省採用
情報流通行政局地上放送課
デジタル放送受信推進室
平成24年 8月 情報流通行政局放送政策課
平成26年 8月 大臣官房総務課
平成28年 7月 情報通信国際戦略局国際政策課
平成30年 4月 情報流通行政局サイバーセキュリティ課
主査
令和 2年 4月 現職



総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
重要無線室重要無線係長

鈴木 勝裕

Suzuki Masahiro

平成16年 4月 総務省採用
情報通信政策局放送技術課
平成19年 7月 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成21年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部
電気通信技術システム課番号企画室
番号企画係長
平成23年 7月 情報通信国際戦略局国際政策課政策係長
平成25年 6月 外務省在トルコ日本国大使館二等書記官
平成28年 7月 情報流通行政局放送技術課企画係長
平成30年 4月 総合通信基盤局電波部移動通信課
第一技術係長
令和 2年 4月 現職

今を見つめ、未来を創る

低廉で多様なサービスの実現に向けて

皆さんは普段どれぐらい携帯電話を利用していますか？多くの人々にとって、携帯電話は単なるコミュニケーションツールではなく、生活に不可欠な存在となっていると思います。その中で、人々が様々なサービスを低価格で利用できる環境作りが求められており、総務省では、市場での公正な競争を促進する取組を進めています。

最近では、携帯会社間の乗換えを容易にして事業者間の競争を促進するために、乗換え時の手続きや手数料といったスイッチングコストの軽減などを行っています。私は、主に、携帯電話について、端末と通信契約のセット販売時の端末価格の割引や通信料金の割引の条件などが法令に違反していないかの確認、関連するガイドラインや省令の整備等を行い、事業者が公正な競争を行う環境整備の一助を担っています。

日々新たなサービスが提供されるので、その変化に対応していくのは大変ですが、だからこそ、やりがいがある仕事だと思います。

新たな「当たり前」を

私は、入省以降、様々な業務を経験してきましたが、ICTの利活用や国際展開、電気通信、放送など、様々な分野を規制と振興の両観点から経験することができ、また、各分野が人々の暮らしを支える重要な業務であることが総務省の魅力だと思います。

入省から2年ほど、放送分野の制度整備を担当していましたが、当時は、スマートフォンが普及し始めたところで、テレビ番組のネット配信はほとんど行われていませんでした。

その中で、NHKによるオリンピックの一部競技の同時配信を認める制度整備を行い、今やオリンピックだけでなく、様々なテレビ番組が放送と同時にスマートフォン等で視聴できることが当たり前になるなど、人々の暮らしが大きく変わっていきました。

人々の暮らしを支えるインフラである情報通信分野で、皆さんも新たな「当たり前」を作る手助けをしてみませんか。

PRIVATE TIME

休みの日は一昨年誕生した娘と公園で遊んだり、一緒に散歩するなどしています。娘の楽しそうな顔や日々成長する姿を見ると仕事の疲れも吹き飛びます！

また、コロナ流行前は、サッカー観戦やライブに行ったりリフレッシュをしていました。いつかは娘も連れて家族でスタジアムに行きたいなと思っています。



見えないモノをカタチにする仕事

電波は国民共有の財産

我々の生活に欠かせない電波。総務省では、社会経済の発展に必要な不可欠な電波の有効利用を促進するため、研究開発、技術基準の策定・標準化、周波数の割当計画、電波利用システムの利活用や海外展開に係る取組など、様々な政策を実施しています。

私が現在取り組んでいるのは、特に国の機関など公共性の高い分野で利用されている電波の有効利用です。電波は有限であり、特に使いやすい周波数帯には、様々なシステムでの利用ニーズがあります。例え、国の機関などが利用する電波の周波数帯であっても、社会経済の発展に貢献する新たな電波利用ニーズが顕在化する場合は、これを実現するために更なる周波数の有効利用に向けた取組を行うことが必要です。

電波は国民共有の財産ですので、その有効利用を促進するためには、聖域なき改革に取り組んでいくことが求められています。

刺激的で魅力的なキャリアパス

総務省では電波行政のみならず、放送分野に係る政策や、携帯電話やブロードバンドなどの電気通信事業分野に係る政策など、広範な業務に携われる機会があります。様々な分野の第一線で活躍されている有識者等から意見を伺う機会などはとても刺激的ですし、多くの関係者と意見交換を積み重ね、政策立案につなげていくという業務は、とても大変ではありますが、魅力的だと思います。また、他省庁や自治体等への出向により、総務省以外の業務にも携わる機会があり、私自身も外務省に出向し、在トルコ日本国大使館において、現地政府との様々な分野に係る協議・交渉や、日本企業支援に携わるなど、広範な業務経験をさせて頂きました。このように、刺激的で魅力的なキャリアパスを歩めることは、ひいては、ご自身の人生の豊かさにも直結すると思います。まずは、説明会などで、お気軽に総務省にいらしてください。

PRIVATE TIME

仕事では効率性・計画性が重視される反面、プライベートでは、方面だけ決めて旅行・散歩したり、近くの河川でルアーフィッシングしたりなど、自由気ままな趣味を満喫しています。平日も時々休暇を頂戴し妻とランチを満喫するなど、ワークライフバランスに心掛けています。良い仕事をするために、良い休暇が必要不可欠です。

今まで関わりのあった職員で最も尊敬している人は？

総務省に採用された時の初めての上司です。「君の仕事はまず色々な人に顔を覚えてもらうことだ」と教わり、とにかく色々な方とコンタクトしました。初対面の方とのコンタクトは労力を要しますが、自分にはない新たな視点や考え方を吸収できますし、交渉の基礎みたいなものを学ぶ機会にもなりますので、皆さんも是非心掛けてみてください。

今までに一番印象に残った仕事はなんですか？

私が技術基準や関係法令の策定作業に携わった無線通信システムが、実際に市場に導入された時などは、まさに見えないモノがカタチになった瞬間でやりがいを感じました。一番印象に残っていることは、在トルコ日本国大使館での勤務の際に、現地で開催されたG20サミットのとある現場責任者を任せられ、現地政府との苦しい交渉を経て、無事に乗り越えられたという経験や、首脳会談の実施に係る業務に携わった経験です。

